

## 国語科（国語）調査資料 作成の観点

書名	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <span style="font-size: 2em;">○○○○</span> <span style="font-size: 2em;">○○○○○</span> </div>	発行者番号 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">発行者名</span>
項目		
内 容	<p> <b>&lt;知識及び技能が習得されるようにするための工夫&gt;</b>                      ○日常生活に必要な国語の特質（言葉の特徴や使い方、情報の扱い方、我が国の言語文化）を理解し適切に使うことができるように、どのような工夫がされているか。                 </p> <p> <b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b>                      ○日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養うために、どのような工夫がされているか。                      ○言語活動を通して、言語能力を育成するためにどのような工夫がされているか。                 </p> <p> <b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b>                      ○言葉がもつよさを認識するとともに、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養うために、どのような工夫がされているか。                      ○児童の言語感覚（言葉に対する正誤・適否・美醜などの感覚）を養うために、どのような工夫が見られるか。                 </p> <p> <b>&lt;読書に親しむ態度を育成するための工夫&gt;</b>                      ○読書に親しむ態度を育成し、読書習慣を形成するために、どのような工夫が見られるか。                 </p>	
資 料	<p>○学習効果を高めるため、資料にどのような工夫が見られるか。</p> <p>○挿絵・写真・図表等、資料のレイアウトにどのような工夫が見られるか。</p>	
表記・表現	<p>○漢字・用語・記号などの使い方にどのような工夫が見られるか。</p> <p>○教材や内容の文章表現の難易度について、児童の言語能力の発達の段階からどのような工夫が見られるか。</p>	
総 括	（全体的な特徴、その他）	

書名 項目	<h1 style="margin: 0;">新編 新しい国語</h1>	2 東 書
内 容	<p><b>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○言葉の特徴や使い方に関するページでは、児童の学習上のつまずきを教材として取り上げて文法知識を理解・定着させ、表現の場で生かすような工夫がある。</li> <li>○「読むこと（説明文）」と「書くこと」の学習の間に「情報のとびら」を位置づけ、「関係」「論理」「整理」「調査」の4つの観点で系統立てた教材を扱い、言葉の力の習得と活用を促すよう工夫されている。</li> </ul> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「話すこと・聞くこと」では、「対話をする」「話を聞く」「話し合う」「話す①」「話す②」の5系統の単元の学習を、6年間を通してスパイラルで学習し、目的や条件に応じた話し方や聞き方が身につくように工夫されている。</li> <li>○「読むこと」と「書くこと」で学習内容や教材の内容が重なる単元を前後に続けて設定しており、「読むこと」と「書くこと」の学習を関連付けながら行い、考えを深めることができるように工夫されている。</li> </ul> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習の流れを明示し「見通す」「取り組む」「振り返る」の課題解決的な学習過程で構成し、主体的に言葉の力を獲得できるように工夫されている。</li> <li>○入学前の経験に寄り添い、学びを円滑につなぐことができるように工夫されている。</li> <li>○伝統的な言語文化について扱う「季節の足音」「伝えたい言の葉」（2年以上）や、巻末付録の「学習で使う言葉」「言葉の広場」により、多くの語に出会い、言葉の使われ方や味わい方などを実感できるように工夫されている。</li> </ul> <p><b>&lt;読書に親しむ態度を育成するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学校図書館や、地域の図書館などの社会教育施設に関する教材を設定し、自分の知りたい情報を得る方法を理解できるように工夫されている。</li> <li>○読書に親しむために、読む教材に関連した本を案内文と表紙写真で紹介したり、著名人の読書体験が掲載されたりしている。</li> </ul>	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○QR コードを読み取ることで、学習時に参照できるコンテンツや自主学習に対応したコンテンツを閲覧、利用することができるように工夫されている。</li> <li>○多層指導モデル MIM を取り入れた特殊音節や助詞の教材、学力調査の課題分析を基にした教材が掲載されている。</li> </ul>	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1年4月の教材は全て見開き完結構成で、分ち書きは2年下巻までとなっている。</li> <li>○物語文と説明文の本文には、5行ごとの行数字に加え、1行ごとに行を示す「・」を付け、行を見つけたり指示したりしやすいように工夫されている。</li> </ul>	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1～4年は、上下巻、5・6年は年間1冊となっている。</li> <li>○学習ページでは、上段に学習活動の展開、下段にノート例や対話例など具体的な学びの姿を示し、学習が見わたせるように工夫されている。</li> <li>○教材の冒頭で絵や写真を見開きで示し、学習意欲を高めるように工夫されている。</li> </ul>	

書名 項目	<h1>ひろがる言葉 小学国語</h1>	17 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">教 出</div>
内 容	<p><b>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○言葉の特徴や使い方に関するページでは日常の言語場面を題材とし、学習への興味関心を高め知識を深められるようにして、再び生活場面で活用できる工夫がある。</li> <li>○教材の中で学習した「情報の扱い方」を、体系的にまとめたページを設け、文の理解や表現のために情報をどのように扱うかを示し、他の教材・教科や実生活にも活用できるように工夫されている。</li> </ul> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「話すこと・聞くこと」では、話し合い、発表、報告、説明、討論、パネルディスカッションなどの多彩な言語活動が扱われ、目的意識や必然性が重視された児童の実生活に結びついた活動により、話し方や聞き方が身につくように工夫されている。</li> <li>○「読むこと」で学習した表現方法を使って書く活動や、学習のまとめとして感想文や報告文等を書く活動が設定されており、「読むこと」と「書くこと」を関連させて、考えを深めることができるように工夫されている。</li> </ul> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○巻頭で1年間の見通しを持ち巻末で学習の振り返りをするすることで、その後の学習や実生活に生かしていこうという意欲を高められるように工夫されている。</li> <li>○1年生では、楽しく安心して言葉の学びに慣れていけるように工夫されている。</li> <li>○伝統的な言語文化について扱う「言葉の文化」（1年下～）や、巻末付録の「言葉の木」「学ぶときに使う言葉」「大事な言い方」をたしかめようにより、多くの語に出会い、言葉の使われ方や味わい方などを実感できるように工夫されている。</li> </ul> <p><b>&lt;読書に親しむ態度を育成するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学校図書館、公共図書館や文学館等地域の施設に関する教材を設定し、本の探し方や情報の集め方等を写真を用いて分かりやすく伝えるように工夫がされている。</li> <li>○読書に親しむために、読む教材に関連した本を案内文と表紙写真で紹介したり、読書経験の交流、表現活動を中心とした読書単元を設定したりしている。</li> </ul>	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○QRコードを読み取ることで、学習時に参照できる資料等をウェブサイト上で閲覧、利用することができるように工夫されている。</li> <li>○学習の展開、学習の留意点、メモやカード、ノートなどの制作物の例示は、領域を超えて統一デザインで掲載されている。</li> </ul>	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○分かち書きは2年上巻まで。全学年でふき出し内の改行位置を工夫している。</li> <li>○物語文と説明文の本文には、5行ごとの行数字に加え、1行ごとに行を示す「・」を付け、行を見つけたり指示したりしやすいように工夫されている。</li> </ul>	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全学年とも上下巻の分冊になっている。</li> <li>○「学習のてびき」の中に、学習活動を支える図解や児童の反応例を掲載し、主体的・対話的で深い学びにつながるように構成されている。</li> <li>○各教材の言葉を使った文作りで、語彙の増加と定着を図るよう工夫されている。</li> </ul>	

書名 項目	<h1 style="margin: 0;">国語</h1>	38 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">光村</span>
内 容	<p><b>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○言葉の特徴や使い方に関するページでは、「問いかけ」をきっかけに、児童が適切な言葉の使い方を意識し、語彙を広げられるような工夫がある。</li> <li>○情報の扱いに特化した教材を「関係」「整理」の2つの観点で取り上げ、「情報どうしの関係を押さえる学習」を説明文の後に、「情報の整理のしかたや方法を学ぶ学習」を書く教材の直前に位置付け、学習との関連を図るよう工夫されている。</li> </ul> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「話すこと・聞くこと」では、言葉の準備運動（アイスブレイク）、コミュニケーションコラム、対話の練習などの多彩な言語活動が扱われ、よりよく聞き、伝え、話し合う方法が身につくように工夫されている。</li> <li>○読む教材で学んだ文章構成や表現方法などの形式を使って書く活動を行うように各学年で単元が設定されており、「読むこと」で学習したことを活用して「書くこと」の学習を進めることができるように工夫されている。</li> </ul> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学びの流れを視覚化し、自分の問いから個別最適・協働的な学びで深め、自分の学びを実感する振り返りで、次の学びにつなげられるように工夫されている。</li> <li>○1年生の学ぶ意欲と確かな言葉の力を育むように工夫されている。</li> <li>○伝統的な言語文化について扱う「季節の言葉」（2年以上）や、巻末付録の「言葉の宝箱」「伝え合うための言葉」「学習に用いる言葉」により、多くの語に出会い、言葉の使われ方や味わい方などを実感できるように工夫されている。</li> </ul> <p><b>&lt;読書に親しむ態度を育成するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学校図書館、公共図書館、文学館などに関する教材を設定し、本の探し方や情報の集め方等を写真を用いて分かりやすく伝えるように工夫されている。</li> <li>○読書に親しむために、読む教材に関連した本を案内文と表紙写真で紹介したり、読書を日常的に広げていくための読書単元を設定したりしている。</li> </ul>	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○QRコードを読み取ることで、教科書の内容に連動したコンテンツを閲覧、利用することができるように工夫されている。</li> <li>○思考ツールを使って情報を整理する方法を学ぶページや学んだ読み方を使って読む関連作品が掲載されている。</li> </ul>	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○2年途中から文節による分かち書きー2・3文節まとめた分かち書きー分かちのない通常の手書き方へと段階的に移行するように工夫されている。</li> <li>○全学年共通で新出漢字を四角で囲み、見つけやすいように工夫されている。</li> </ul>	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1～4年は上下巻、5・6年は年間1冊となっている。</li> <li>○学習ページでは、二段構成で上段に活動の流れ、下段に学習ポイントが書かれ、学習を進めやすくするように工夫されている。</li> <li>○各領域で「問いをもとう」を掲げ、主体的に学習に取り組めるように工夫されている。</li> </ul>	

国語科（国語） 調査資料 2

○分量について

内容	学年	東書	教出	光村
1 総ページ数 ※ 目録に記載されたページ数	1年	320	314	273
	2年	332	334	332
	3年	342	326	332
	4年	332	348	336
	5年	298	346	294
	6年	298	330	312
2 巻末資料、付録等の総ページ数 ※ ページ番号のない部分も含む	1年	43	47	26
	2年	52	60	56
	3年	56	60	56
	4年	50	68	60
	5年	29	80	44
	6年	29	84	52
3 単元数	1年	31	14	15
	2年	23	26	26
	3年	21	23	24
	4年	21	24	24
	5年	20	21	23
	6年	20	23	23

○領域別教材数等について ※（ ）内は、資料編等の中の教材及び資料数

内容	学年	東書	教出	光村	
1 教材数 ※ 扉の部分の詩も教材数に含む	1年	67(18)	65(20)	61(12)	
	2年	64(13)	54(23)	66(19)	
	3年	86(17)	65(24)	73(20)	
	4年	83(15)	65(33)	80(18)	
	5年	64(9)	59(30)	70(10)	
	6年	71(8)	56(31)	75(16)	
2 領域別教材数	① 話すこと・聞くこと	1年	9(2)	10(1)	11(1)
		2年	6	5(2)	7
		3年	5	6(3)	6(2)
		4年	5	6(2)	6(1)
		5年	5	5(2)	6(2)
		6年	5	6(2)	6(2)
	② 書くこと	1年	8(5)	15(2)	11(1)
		2年	7	8(1)	9
		3年	6(1)	6(1)	8(2)
		4年	6	7(1)	9
		5年	5	5(2)	8(1)
		6年	5	7(1)	8(1)
	③ 読むこと	1年	15	14(1)	15
		2年	11(1)	13(2)	20(1)
		3年	11(1)	12(1)	25(1)
		4年	11(1)	13(2)	18(2)
		5年	10(1)	15(2)	19(1)
		6年	14(1)	12(3)	22(5)
	④ 言葉の特徴や使い方、情報の扱い方、我が国の言語文化に関する事項	1年	28(9)	25(9)	26(8)
		2年	34(5)	21(10)	25(9)
		3年	58(10)	34(10)	40(7)
		4年	55(8)	35(20)	44(6)
		5年	39(5)	28(16)	40(4)
		6年	42(4)	30(14)	36(13)

○文種別教材数について ※（ ）内は、資料編等の中の教材数

内容	学年	東書	教出	光村
1 物語・小説・随筆	1年	8(1)	7(2)	7(1)
	2年	5(1)	6(2)	5(3)
	3年	5(1)	5(1)	5(1)
	4年	5(1)	4(2)	5(1)
	5年	5(1)	4(2)	4(1)
	6年	5(1)	5(5)	4(5)
2 詩・短歌・俳句 ※ 巻頭詩、文語調の短歌・俳句を含む	1年	5	6	5
	2年	9	4	11
	3年	31	17	23
	4年	18	18	28
	5年	17	10(5)	18
	6年	20	5	22
3 説明的文章	1年	4	4	4
	2年	4	3(1)	5
	3年	4	4	5
	4年	4	4	5(1)
	5年	4	4	5(1)
	6年	4	4	8(1)
4 文語調の文章 ※ 漢文・和歌・川柳等を含む	1年	0	0	0
	2年	0	2	0
	3年	0	0	2
	4年	11	9(8)	0
	5年	6	10(4)	12
	6年	7	7(4)	2

○その他 ※（ ）内は、資料編等の中の教材数

内容	学年	東書	教出	光村
学校図書館の活用に関する教材数 (読書案内・読書活動を含む)	1年	4	4(3)	3(2)
	2年	3(1)	3(4)	2(2)
	3年	3(1)	3(4)	2(2)
	4年	3(1)	3(4)	2(2)
	5年	3(1)	3(4)	2(1)
	6年	3(1)	3(4)	2(1)
QRコードの数	1年	66	22	34
	2年	105	32	24
	3年	109	37	30
	4年	113	38	29
	5年	98	40	28
	6年	95	43	25